

令和4年度事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 一般会計
課・室名 スポーツ課 (単位:千円)

事業名	区分	経費区分	福井県長期ビジョンにおける位置づけ	関連する県の計画等	事業区分			事業開始年度	経過年数	令和5年度予算額	財源内訳				評価に基づく今後の対応																
					実行予算	補助金	その他				国庫	起債	その他特定財源	一般	拡充	継続	整理統合	縮減	休止	廃止	終期の見直し	完了	その他	見直し額							
																									10	10	3				
障がい者アスリート競技力向上事業	拡充	政策的経費	学びを伸ばす(人材力)	福井県スポーツ推進計画 福井県障がい者福祉計画	○	○		H26	10	21,792	5,596	0	0	16,196	○																0
障がい者スポーツ裾野拡大事業	継続	政策的経費	学びを伸ばす(人材力)	福井県スポーツ推進計画 福井県障がい者福祉計画	○			R1	5	5,307	2,653	0	0	2,654				○												983	
障がい者eスポーツ普及促進事業	継続	政策的経費	学びを伸ばす(人材力)	福井県障がい者福祉計画	○			R4	2	1,641	820	0	0	821				○												55	
県民スポーツ祭開催事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画		○		H17	19	13,500	0	0	0	13,500		○														0	
1県民1スポーツ普及事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画	○	○		H25	11	1,535	0	0	0	1,535		○														0	
総合型地域スポーツクラブ支援事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画		○		R4	2	3,170	0	0	0	3,170				○												1,817	
スポーツ・文化に関する県民意識調査	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画	○			H22	14	1,598	0	0	0	1,598		○														0	
スポーツ・文化交流フェスタ等開催事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画	○			H25	11	18,244	0	0	0	18,244				○												1,016	
スポーツ大会開催費補助金	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画		○		H5	31	1,000	0	0	1,000	0				○												2,500	
スポーツまちづくり推進事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画		○		R2	4	15,826	0	0	0	15,826				○												114	
スポーツイベント開催支援事業	拡充	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画		○		R2	4	15,550	7,775	0	0	7,775	○															0	
日本スポーツマスターズ開催事業	拡充	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン			○	R3	3	69,900	34,950	0	0	34,950	○															0	
FUKUI RAYS育成・全国魅力発信事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画	○	○		R2	4	7,867	3,933	0	0	3,934				○												550	
スポーツ情報ポータルサイト保守事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン	○			R2	4	1,281	0	0	0	1,281		○														0	
スポーツコミッション事務局運営事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画	○			R2	4	273	0	0	0	273		○														0	
Go To Sports・Culture(Go To スポカル)事業	終了	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画			○	R3	2	0	0	0	0	0							○								22,378		
ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備事業	継続	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画			○	H30	6	55	0	0	0	55				○											31		
街なかスポーツ支援事業	終了	政策的経費	まちづくり	福井県スポーツ推進計画		○		R3	2	0	0	0	0	0							○								22,397		
競技力向上対策事業	継続	政策的経費	学びを伸ばす(人材力)	福井県スポーツ推進計画 教育振興基本計画	○	○		S41	58	463,423	43,609	0	0	419,814				○												68,853	
					10	10	3			641,962	99,336	0	1,000	541,626	3	5	0	9	0	2	0	0	0	0	0	0			120,694		

障がい者アスリート競技力向上事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体		①しあわせ福井スポーツ協会、②障がい者トップアスリート			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	①委託、②補助											
補助率	②10/10 (上限あり)											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす (人材力)] 政策 [多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]					関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画 福井県障がい者福祉計画]				
[解決すべき問題・課題] 「福井しあわせ元気大会」をピークに県強化指定選手は減少しており、若年層を中心に新たな選手獲得や育成・強化が急務となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 県強化指定選手数 H30 : 321人 R1 : 274人 R2 : 268人 R3 : 275人 R4 : 273人						
[事業目的] 「福井しあわせ元気大会」で培われた選手育成・強化体制の取組定着や、障がい者スポーツ振興による競技人口の拡大、新たな県強化指定選手の育成により、県内障がい者スポーツの競技力向上を図る。また、パラリンピック等の主要国際大会への出場を目指す本県在住の障がい者トップアスリートを多方面から支援を行う。これらの選手の活躍は同様の障がいを持つ方々にとっての大きな希望であり、このことにより障がい者スポーツの気運を高め、認知度向上を図る。												
[事業内容] ①障スポ強化対策事業 （１）強化指定選手の認定 福井県障がい者スポーツ大会の成績等により、有望選手やチームを強化指定 （２）強化対策 強化指定選手を対象に強化練習会、県外指導者による特別練習会、健常者チームとの練習試合・合同練習会、県外遠征等 ②障スポアスリート記録会の開催 強化練習会などの成果を発揮する場として記録会を開催し、さらなる競技への意欲や競技力の向上を図る ③障がい者トップアスリート応援事業 （１）全日本強化指定選手への支援（支援枠） ・対象者 日本パラリンピック委員会加盟競技団体強化指定選手等 ・対象経費 国際大会および強化練習にかかる自己負担経費、指導者招へい費、身体的ケア等にかかる自己負担経費 ・補助額 700千円/選手 【特別加算】①国際大会出場300千円/選手 ②介助者旅費200千円/選手 （２）福井県強化指定選手への支援（育成枠） ・対象者 福井県強化指定選手のうち、県内の各競技団体からの推薦があり、国内大会等への出場が見込まれる選手 ・対象経費 各中央競技団体等が主催する国内大会への参加にかかる自己負担経費等 ・補助額 200千円/選手 ④障がい者スポーツ大会開催費補助金 全国大会、ブロック大会を開催することにより、本県の障がい者スポーツの競技力向上と普及を図る。												
[受益者] 障がい者（健康上の理由でスポーツに関わることが困難な者を除く）						[想定される受益者数] 身体障がい者 35,601人、知的障がい者 7,054人、精神障がい者 7,774人 合計 50,429人 (R4.3現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 障がい者スポーツ振興事業 (役割分担) 障がい者アスリート競技力向上事業において選手強化を行い、障がい者スポーツ振興事業において全国障害者スポーツ大会等に選手を派遣				
市町との連携状況						他県の状況		33都道府県でトップアスリートを支援する制度あり (29年度 埼玉県全国調査)				

障がい者アスリート競技力向上事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	①しあわせ福井スポーツ協会、②障がい者トップアスリート				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	①委託、②補助											
補助率	②10/10 (上限あり)											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	21,792	5,596			16,196	地域生活支援事業費等補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	20,512	20,514	20,867	20,105	21,792	障スポ強化対策事業 一部団体競技への支援減 障がい者トップアスリート応援事業 育成枠の減 障スポアスリート記録会の開催による増 全国ろうあ者体育大会開催への補助による増						
2月現計予算額の推移	20,512	20,514	15,283	17,478								
決算額の推移	17,098	14,061	9,882									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年度より障がい者トップアスリート応援事業開始 ・ 支援対象者の増減 											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	国際大会出場数 (目標)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(15)	(20)	当事業を活用して出場した国際大会数			
	実績	8	0	0	1							
活動指標	トップアスリート応援事業支援対象者 (目標)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(15)	(20)	当事業の支援対象者数			
	実績	12	14	14	13							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和5年度の変更点			事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績 競技団体との連携を十分に図りながら13名のトップアスリートに対して補助 ・ 外的要因 新型コロナウイルスの影響により、国際大会が中止になったため、目標未達成 					<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の影響により強化練習会等の成果を発揮する場が制限されているため、新たに「障スポアスリート記録会」を開催することにより、更なる競技への意欲や競技力の向上を図る 			■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

障がい者スポーツ裾野拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託									経過年数		
補助率	—									5 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす(人材力)] 政策 [多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画 福井県障がい者福祉計画]					
[解決すべき問題・課題] 障がい者のスポーツ実施率向上を図るため、スポーツをより身近に感じ、気軽に体験・継続できる環境の整備が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] 障がい者スポーツ体験教室参加延人数 H30 : 2,640人 R1 : 2,953人 R2 : 3,281人 R3 : 3,647人						
[事業目的] 障がいの有無や性別、年齢に関わらず共にスポーツを楽しむことを通して、互いの理解を深め、障がい者の社会参加の促進や共生社会の実現を目指す。そのため、身近な環境で誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツ振興を通じた地域づくりを進める。												
[事業内容] I. スポーツ「融合の輪」拡大事業 ①「福井しあわせパラスポーツデー」開催 … 福井しあわせ元気国体・大会のレガシーとして、障がいの有無、世代を超えた交流・融合を推進し、誰もが楽しむことに重点を置いたイベントの開催 ②障がい者スポーツ出前講座の開催 … 障がい者スポーツの理解・啓発を進めるため、県内の障がい者トップアスリート等が小学校や中学校等に出向き、障がい者スポーツの出前講座を開催 ③障がい者スポーツ指導員の養成 … 地域において障がい者スポーツを理解し指導ができる人材を育成するため講習会等を開催 ④障がい者スポーツ情報発信 … 障がい者スポーツに関する行事案内や活動情報を発信 II. 障がい者スポーツ「はじめの一步」支援事業 ①障がい者スポーツ体験教室開催 … 障がい者福祉団体等が行う体験教室を支援												
[受益者] 障がい者(健康上の理由でスポーツに関わることが困難な者を除く)						[想定される受益者数] 身体障がい者 35,601人、知的障がい者 7,074人、精神障がい者 7,774人 合計 50,449人 (R4.3現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 障がい者アスリート競技力向上事業 (役割分担) 障がい者がスポーツに触れる機会を確保しスポーツ実施率の向上を図る中で、競技スポーツを目指す選手が輩出される。こうした選手を障がい者アスリート競技力向上事業において育成・強化を図る。					
市町との連携状況					他県の状況		・石川県：障がい者ふれあいフェスティバルを開催し、パラスポーツ体験・紹介コーナーを設置(令和4年度) ・富山県：パラスポーツフェスタを開催し、ポッチャ等の体験コーナーを設置(令和3年度)					

障がい者スポーツ裾野拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,307	2,653			2,654	地域生活支援事業費等補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	7,440	7,402	6,541	6,290	5,307	総合型地域スポーツクラブ支援事業の廃止（県内各クラブへの普及が完了したため）						
2月現計予算額の推移	7,440	7,402	5,122	6,290								
決算額の推移	7,439	4,155	4,070									
前年度までの 主な増減理由	総合型地域スポーツクラブへの支援クラブ数の減											
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	障がい者スポーツ出前講座 参加者数	(目標)		(2,800)	(2,800)	(2,800)	(2,800)	(2,800)	障がいのある人となない人がともにスポーツに親しむ機会の創出に向けた 主要政策KPI			
		実績		2,455	3,525							
活動指標	県内各地域での障がい者ス ポーツ事業	(目標)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	毎年県内6地域（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）すべてにおいて 障がい者スポーツ事業を実施			
		実績	6	6	6	6						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・外的要因 コロナ禍の影響を受け、小中学校からの依頼が減少したため、目標 未達成				・総合型地域スポーツクラブ支援事業 県内各クラブへの普及が完了したため、事業終了				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	983	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

障がい者eスポーツ普及促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす(人材力)] 政策 [多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現]				関連する県の計画等		[福井県障がい者福祉計画]					
[解決すべき問題・課題] 障がいの種類・程度によっては運動・スポーツを通じた社会参加が難しい者もいる。また、健常者との交流において障がいの有無がネックとなる場合もある。						[問題・課題を表す客観的データ] 障がい者を対象としたeスポーツ体験会・イベント・大会 県内開催実績なし						
[事業目的] 年齢や性別、障がいの垣根が低く、誰もが楽しむことができるeスポーツに焦点をあて、障がい者がeスポーツを通じて活躍する場の提供や健常者との交流を深める機会を創出し、共生社会の実現を目指す。												
[事業内容] ①障がい者福祉施設職員等を対象としたeスポーツの講習会を開催 (対象) 障がい者福祉施設、特別支援学校、市町福祉担当課の職員など (内容) ・eスポーツの活用事例や障がい者への効果、メリット、利用にあたっての注意点等を紹介 ・令和4年度事業の成果をフィードバック ②障がい者施設におけるeスポーツ環境の整備を支援 (対象) 障がい者関係施設 5施設(県内5地区×1モデル施設) (内容) ・eスポーツ設備の導入に必要な初期経費を支援 ・補助対象施設においてeスポーツによる障がい者への効果やメリットなどを検証 ③障がい者eスポーツ交流会を開催 (対象) 障がい者福祉施設等(モデル施設含む)の利用者、特別支援学校教職員、関係者、健常者など (内容) ・ぷよぷよやウイニングイレブンなどの体験コーナー ・健常者との交流の場を設定し、障がいの有無や年齢を超えた体験を目指す												
[受益者] 県内障がい者						[想定される受益者数] 身体障がい者 35,601人、知的障がい者 7,074人、精神障がい者 7,774人 合計 50,449人(R4.3現在)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	各市町の障がい者スポーツ、eスポーツ事業の担当者に、県主催の講習会に参加してもらい、eスポーツの魅力や可能性について周知				他県の状況		・愛媛県：障がい者を対象に機器貸出し、eスポーツイベント等を開催					

障がい者eスポーツ普及促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	しあわせ福井スポーツ協会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,641	820			821	地域生活支援事業費等補助金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				1,696	1,641	体験会を削減し交流会を新設したことによる減						
2月現計予算額の推移				1,696								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県主催以外の障がい者が参加可能なeスポーツイベント数 (目標)			(1)	(1)	(2)	(4)	モデル施設等が自主・自立的にeスポーツに関する体験会や大会を開催し、障がい者同士・障がい者と健常者など様々な交流の機会を創出することで共生社会のきっかけとする				
	実績			0								
活動指標	新規モデル施設数 (目標)			(5)	(5)	(5)	(10)	県内全域でeスポーツを通じた交流が促進されるよう県内各地域（福井、坂井、奥越、丹南、嶺南）にモデル施設を設置				
	実績			5								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・「障がい者eスポーツスタートアップ講習会」の開催（108名参加） ・障がい者施設におけるeスポーツ環境の整備を支援（5施設） 				<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが参加できるeスポーツ交流会を開催し、障がい者と健常者との交流の場を設ける。 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	55	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

県民スポーツ祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘		
事業主体	県民スポーツ祭実行委員会					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	定額								<input type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]					関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] シニア世代(60歳以上)の参加増						[問題・課題を表す客観的データ] シニア世代(60歳以上)参加割合 約37%(R4.10現在) ・市町対抗の部 約17% 371人 ・交流の部 約62% 989人 合計1,360人							
[事業目的] 県民が気軽に参加でき、年間を通じて幅広いスポーツ分野で活動成果を試す場を提供することにより、スポーツを「見る、する、支える」人口の増加につなげ、生涯にわたって元気でいきいきとしたスポーツライフの実現を目指す。													
[事業内容] ○県民スポーツ祭の開催 県民が気軽に参加できるスポーツ活動の場、年間を通じてできるスポーツ体験の場を提供 ・総合開会式 ・市町対抗の部：市町代表選手による競技 ・高校の部：高校生による競技 ・中学校の部：中学生による競技 ・小学生の部：小学生による競技 ・交流の部：一般参加者による競技 ・障がい者の部：障がい者による競技 ・みんなでスポーツフェスタ ：親子で参加できる競技や障がい者スポーツ競技の体験会													
[受益者] 市町地域住民、県民スポーツ祭参加者						[想定される受益者数] 約40,000人							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県民体育大会、県スポーツ・レクリエーション大会 (実績) H16年まで、「県民体育大会」と「県スポーツ・レクリエーション大会」を開催。H17年度に2大会を統合し、「県民スポーツ祭」として県内最大のスポーツイベントとして開催					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・市町が開催するスポーツイベント(体験会等含む)を「県民スポーツ祭協力事業」と位置づけ、広報活動などを協力して実施 ・市町対抗の部では、市町スポーツ協会で参加選手をとりまとめて申込					他県の状況		石川県：石川県民体育大会 富山県：富山県民体育大会				

県民スポーツ祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘					
事業主体	県民スポーツ祭実行委員会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H17 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	13,500					13,500										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		13,500	13,500	13,500	13,500	13,500										
2月現計予算額の推移		13,500	13,500	13,500	13,500											
決算額の推移		13,500	9,864	11,558												
前年度までの 主な増減理由		新型コロナウイルス感染症の蔓延により、総合開会式の規模縮小や各競技団体の判断で競技会を中止したものがあったため														
[成果指標等の推移]																
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	参加者数	(目標)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)	(46,000)								
		実績	39,887	12,961	23,700											
活動指標	シニア世代参加者数	(目標)			(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)	(2,600)							
		実績			2,487											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
・事業実績 実施競技は新型コロナウイルス対策を徹底した上で運営 (実施種目数：R1 158種目、R2 85種目、R3 126種目) ・外的要因 コロナ禍の影響により総合開会式の規模を縮小し、競技会を中止または延期 とした 競技種目もあったため目標未達成				・新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえて、総合開会 式を元の規模に戻して実施できるか検討				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

1 県民 1 スポーツ普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県、競技団体等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] ・スポーツ実施率の向上を図るため、スポーツをより身近に感じ、気軽に体験・継続できる環境の整備が必要。 ・スポーツ環境の改善を図るため、指導者・選手が正しい知識を習得することが必要。						[問題・課題を表す客観的データ] 成人のスポーツ実施率(週に1回以上スポーツを実施) R3: 福井県 66.5% [参考値] 全国 56.4% R2: 福井県 56.0% 全国 59.9%						
[事業目的] スポーツを通じた健康づくり、生きがいつくりにつなげるため、子どもから高齢者まで、それぞれの体力や生活時間にあった運動習慣の定着を促進する。												
[事業内容] ○1 県民1スポーツ普及の推進 ・働き盛り世代・子育て世代・高齢者・障がい者のスポーツ参加の促進・・・気軽にできる運動の講習会や体験会を企業の研修会や団体の会合等に出向いて指導 ・地域クラブ指導者養成・・・ニュースポーツの地域クラブ指導者やこれから競技を始めたい初心者を対象とした研修会を開催し、指導者の資質向上と競技の普及・発展を図る ○ゆるスポ・ニュースポ推進 ・大会等の開催の促進・・・ニュースポーツやレクリエーションスポーツの大会、体験会、出前教室等の開催を促進するため、開催経費を助成 (実施主体) 県レクリエーション協会加盟団体、県スポーツ協会準加盟・準々加盟団体等 (対象経費) 開催にかかる会場借上費、指導者報償費・旅費、消耗品費等 (補助額) 基本50千円/イベント 加算50千円/1項目(各項目での必要経費) ①参加者50人以上のイベント、②親子参加型(子育て世代対象)イベント、③障がい者参加型イベント④シニア(60歳以上)参加型イベント 上限100千円												
[受益者] 市町地域住民、スポーツクラブ関係者、総合型地域スポーツクラブ会員等						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担			□ 無 ■ 有 事業名 総合型地域スポーツクラブ支援事業 (役割分担) 生涯スポーツ振興における「活動の場の充実」を図る上でクラブ・団体の育成が重要であり、総合型地域スポーツクラブに対する多様な支援については総合型地域スポーツクラブ支援事業で実施			
市町との連携状況						他県の状況			石川県: いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会			

1 県民 1 スポーツ普及事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘			
事業主体	県、競技団体等				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	H25 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	実行予算、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	定額					□ その他			□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,535						1,535							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			1,367	1,367	1,367	1,534	1,535							
2月現計予算額の推移			1,367	1,367	1,367	1,534								
決算額の推移			914	970	1,218									
前年度までの 主な増減理由		令和4年度にゆるスポ・ニュースポ推進を統合												
[成果指標等の推移]														
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	スポーツ実施率 (%)	(目標)	(58)	(65)	(65)	(65)	(65)	(65)	(65)	福井県スポーツ推進計画 R6目標 スポーツ実施率65%				
		実績	54.8	56.0	66.5									
活動指標	ゆるスポニュースポ補助対 象イベント	(目標)				(7)	(7)	(7)	(7)	ゆるスポ・ニュースポーツの普及拡大を目的とした大会・体験会等の開催数				
		実績				6								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
令和3年度スポーツ実施率 66.5% [参考値] ※コロナ禍の影響により、体力・運動能力調査のために人を集めることができなかった市町自治体では、スポーツクラブ等で調査を実施。このため、運動実施率が例年と比較して増加。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

総合型地域スポーツクラブ支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘		
事業主体	公益財団法人福井県スポーツ協会				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	補助									経過年数			2 年
補助率	定額									2 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]						
[解決すべき問題・課題] 地域住民が気軽に参加できるスポーツ活動の拠点として、総合型地域スポーツクラブの機能を強化し、スポーツ実施率の向上を図る。						[問題・課題を表す客観的データ] 総合型クラブ会員数 R1 : 6,635人 R2 : 6,009人 R3 : 6,246人 R4 : 5,939人 (R4.8月末時点) 成人スポーツ実施率 R1 : 54.8% (全国 : 53.6) R2 : 56.0% (全国 : 59.9) R3 : 66.5% (全国 : 56.4)							
[事業目的] 県内で活動する総合型地域スポーツクラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図り、クラブの設立や運営の支援を行う「福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」が、令和4年度から、(公財)福井県スポーツ協会に創設されたことに伴い、総合型地域スポーツクラブを多方面から支援する。													
[事業内容] ①育成支援、市町連携支援・・・先進クラブの代表者による事業展開や運営面での研修会、行政と連携した事業運営などを学ぶ研修会の開催 ②登録認証支援・・・総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の運用に伴う登録審査会の開催 ③機能強化支援・・・地域における認知度向上につながるスポーツ体験イベントを開催する総合型地域スポーツクラブに対する補助 (内 容) 商業施設やスポーツ施設等での体験イベントの開催経費補助 補助率：定額 上限額：1ブロック250千円 選定数：5ブロック (対象者) 福井県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会加盟クラブ(ブロック単位の補助) ④クラブアドバイザー配置支援・・・総合型地域スポーツクラブへの巡回指導等を行うクラブアドバイザーを配置													
[受益者] 市町地域住民、総合型地域スポーツクラブ会員等						[想定される受益者数] 約73万人							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 広域スポーツセンター事業 (役割分担) 生涯スポーツ振興のため、総合型地域スポーツクラブに関する諸事業は本事業で実施し、その他については、広域スポーツセンター事業が担当して互いに連携・協力						
市町との連携状況	各市町行政担当者とクラブ関係者を対象とした研修会を開催し、市町連携の事業展開について検討を行い、17市町との連携を推進				他県の状況		石川県、富山県、新潟県、岐阜県などに総合型地域スポーツクラブへの支援事業がある						

総合型地域スポーツクラブ支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	公益財団法人福井県スポーツ協会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,170					3,170						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					4,987	3,170	総合型地域スポーツクラブ登録審査会（実地審査）の回数減、機能強化支援における補助対象者数の減					
2月現計予算額の推移					3,277							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	総合型地域スポーツクラブ 会員数				(6,500) 6,274	(6,500)	(7,000)	(7,500)	福井県スポーツ推進計画 R6目標 会員数7,500人			
活動指標	登録認証数				(10) 25	(15)	(15)	(20)	総合型地域スポーツクラブ登録認証制度 令和4年度開始			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型地域スポーツクラブ会員数 R2：6,009人、R3：6,246人 R4：5,939人（R4.8月末時点） ・ 成人のスポーツ実施率 R2：56.0%、R3：66.5%[参考値] ・ 総合型地域スポーツクラブ認知度 知らない：60.1%（県民意識調査） 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内総合型地域スポーツクラブの認知度向上および新規会員獲得のため、ブロック単位でスポーツ体験イベント等を実施し総合型地域スポーツクラブの機能強化を図る 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,817	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツ・文化に関する県民意識調査

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] スポーツ推進計画の進捗状況の把握、運動・スポーツに関する県民ニーズを把握する調査として必要						[問題・課題を表す客観的データ] 成人のスポーツ実施率(週に1回以上スポーツを実施) R3: 福井県 66.5% [参考値] 全国 56.4% R2: 福井県 56.0% 全国 59.9%						
[事業目的] 本県における県民のスポーツに関する意識およびスポーツ振興に係る県民のニーズを把握するために広く調査し、福井県スポーツ推進計画の基礎資料等として活用する。												
[事業内容] ○事業調査概要 運動・スポーツ・文化の実施状況について 運動・スポーツ・文化に関する意識について ○事業調査の対象 事業調査対象：15歳以上の福井県民 事業対象者数：2,000人（目標標本数：1,200人） 選考方法：住民基本台帳から無作為選定												
[受益者] 市町地域住民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況		石川県：実施していない 富山県：3年に1度、調査実施				

スポーツ・文化に関する県民意識調査

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 14 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	1,598					1,598										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				1,222		1,598	QRコードによる調査方法の追加に伴い、プログラム開発料等が必要になるため									
2月現計予算額の推移				1,222												
決算額の推移				1,216												
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難							
活動指標	(目標) 実績								定量的に検証できるものがなく設定が困難							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価								
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

スポーツ・文化交流フェスタ等開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] ・コロナ禍における、体験イベントの在り方を検討し、新しい形でのイベント開催を模索する。 ・コロナ禍におけるキャラクターの露出方法（出勤、動画作成など）の検討と、更なるファン 拡大を図るための新しい取り組みが必要。						[問題・課題を表す客観的データ] ・フェスタ来場者数（R1：10,109人、R2：2,790人、R3：5,100人、R4：13,808人） ・はぴねすキャラバン出勤数（R1：291回、R2：203回、R3：187回）						
[事業目的] 県民のスポーツ・文化活動の活性化や、県民相互の交流を促すため、継続してスポーツ・文化の複合型イベント「スポーツ・文化交流イベント」を開催する。また、福井県のキャラクターとして活躍している「はぴりゅう」については、その認知度・知名度を活かし、県事業PRなどで効果的に活用していく。												
[事業内容] (1) 県民スポーツ・文化交流イベントの開催 ・ステージプログラム・・・エンタメステージ、県内ゆかりの団体によるステージ発表等 ・体験、PR・・・スポーツ、アート、アミューズメント、eスポーツ、障がい者スポーツの体験教室等、県事業のPRブース等 (2) 「はぴねすキャラバン」の運用 ・県民交流サポーター「はぴりゅう」の継続的な活用による県民応援活動												
[受益者] 市町地域住民、イベント参加者						[想定される受益者数] 約10,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スポーツ&アートフェスタ、広報キャラバン (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町観光関係機関との連携により、市町観光PR・特産品・ご当地グルメ等PRを行う。今後も、北陸新幹線開業に向けた県内市町のおもてなし強化の観点から、継続して連携を図っていく。					他県の状況						

スポーツ・文化交流フェスタ等開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	18,244				18,244							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		19,103	21,602	20,548	19,260	18,244	はびねすキャラバンにおけるスタッフ派遣費・移動費等の削減に伴う減					
2月現計予算額の推移		19,103	20,123	20,548	19,260							
決算額の推移		18,825	19,696	20,448								
前年度までの 主な増減理由		はびねすキャラバン隊出動回数の見直しに伴う減										
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来場者数 (目標)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	イベント（はぴりゅうフェスタ）の来場者数			
	実績	10,109	2,790	5,100	13,808							
活動指標	広報活動数 (目標)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	(240)	マスコット「はぴりゅう」等の運用(月20回程度運用を予定)			
	実績	291	203	192								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・事業実績 スポーツ・文化交流イベント（はぴりゅうフェスタ） 令和4年10月15日(土)、16日(日)実施 参加者数：13,808人 はびねすキャラバン出動回数196回 ※R5.2月末時点 ・外的要因 新型コロナウイルスの影響により県内各地のイベント数が減少したため はびねすキャラバン隊出動・広報活動数の目標未達成				・はびねすキャラバンにおけるスタッフ派遣費・移動費等 の見直し・精査に伴う減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,016	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツ大会開催費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	競技団体等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H5 年度 経過年数 31 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の魅力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] スポーツを「みる」「する」「ささえる」機会の充実						[問題・課題を表す客観的データ] ・新型コロナの影響によるスポーツ活動の停滞 ・スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 観客数 2022年 1,200人 2021年 1,600人 2020年 2,700人						
[事業目的] 県内で開催される各種大会に補助し、県民がスポーツに興味・関心を持つ機会を充実し、地域のにぎわい、スポーツの振興を図る												
[事業内容] 各種競技団体が行う大会開催に対して補助を行う。 補助条件 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1) 対象となる大会 国際大会、全国大会、ブロック（中部、東海北陸、中日本、北信越）大会</p> <p>(2) 大会の内容 ①競技の普及振興、競技力向上を図ることを目的としたもの ②本県発祥など、生涯スポーツの振興に貢献するもの ③県のイメージアップ、PRにつながるもの</p> <p>(3) 競技スポーツ、生涯スポーツを問わず、実施主体（補助事業者）が （公財）福井県スポーツ協会に加盟していること</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>補助金額のルール</p> <p>(1) 全国大会 300千円 (2) ブロック大会 100千円 (3) 国際大会、その他お成りを伴う大会 県内開催前例、先催県等を参考に決定 (4) 本県発祥のスポーツ大会 本県での普及度、知名度、貢献度を参考に決定 本県発祥の大会は100千円上乘せする (5) 大規模イベント・大会 3,000千円</p> </div> </div>												
[受益者] 市町地域住民、県スポーツ協会に加盟する競技団体とその加入者						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スポーツイベント開催支援事業 (役割分担) 当該事業は原則、単年度限りの補助であるが、スポーツイベント開催支援事業は、新規性・継続性がある大規模イベントが対象となっており、入場料等による自立化を促すため、開催初期の支援を複数年行うもの					
市町との連携状況						他県の状況						

スポーツ大会開催費補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘		
事業主体	競技団体等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H5 年度 経過年数 31 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	年度
事業実施方法	補助												
補助率	定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,000			(繰入) 1,000	0	スポーツふくい基金繰入金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	700	1,300	2,800	3,500	1,000	補助大会数・規模の変動による減							
2月現計予算額の推移	700	300	2,700	3,500									
決算額の推移	700	300	1,600										
前年度までの 主な増減理由	補助対象大会数や規模の変動に伴う増												
[成果指標等の推移]													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績							定量的に検証できるものがなく設定が困難					
活動指標	補助件数・交付件数	(3) 3	(5) 4	(4) 3	(4) 4								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
・事業による要因 県スポーツ協会や加盟する競技団体と十分に連携しながら進めたが、コロナ禍という外的要因の影響が大きかったため、令和3年度は目標4件のところ3件にとどまった ・外的要因 新型コロナにより予定していた大会の1件が中止となったため目標未達成				・令和5年度は4件の大会への補助を予定。補助件数と大会規模の変動により、予算額は縮減。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		2,500	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

スポーツまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	市町				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 福井国体やオリパラの開催により醸成された各市町のスポーツに対する機運の盛り上がりを活かし、新幹線開業に向けて、スポーツによるまちづくりを進めていく絶好の機会を逃さぬよう、市町事業に財源的な支援が必要						[問題・課題を表す客観的データ] R4年度開催大規模全国大会・イベント等（選手・観客1,000人以上）10件（見込含）						
[事業目的] 全国大会や世界大会の開催、代表チームのキャンプ誘致等の効果を、地域の特色としてまちづくりにつなげるため、新たに推進プランを策定し、プランに基づく事業を実施する市町をモデル地域として集中的・継続的に支援する。												
[事業内容] (1) 推進プラン策定 大規模大会等を実施後、その効果を継続するため、指導者の育成や競技人口の増加にかかる取組、交流人口の増加につながる事業、まちなかの景観整備など、課題解決や地域の特色づくりに資する事業を実施する「スポーツまちづくり推進プラン」を策定する。 ・推進計画には以下の3つの分野の実現に向けた事業を記載 ①交流人口増加…大規模大会の開催、独自大会の創設などによる交流人口の増加 ②裾野拡大…指導者・選手の育成、体験教室開催、地元住民との交流事業など ③機運醸成…イベント開催、活動拠点の整備、関連グッズ開発など (2) 補助対象者 市町（補助対象者が競技団体等へ補助を行う事業も対象とする。） (3) 補助対象競技 全市町・全種目 (4) 補助率 1/2 (5) 補助限度額 1つの計画あたり最長3か年度まで（計画認定年度を含む）合計15,000千円まで（ただし、一年度あたりの限度額は5,000千円まで）												
[受益者] 各市町						[想定される受益者数] 約28万人（越前市、坂井市、美浜町、高浜町、あわら市、大野市）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町が主体となって、3か年の推進プランを作成し、県はプラン記載の事業について、重点的に支援する。					他県の状況	石川県・富山県の事例なし					

スポーツまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	
事業実施方法	補助			<input checked="" type="checkbox"/> 補助金								
補助率	1/2			<input type="checkbox"/> その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,826				15,826							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			10,000	12,938	15,940	15,826	越前市の事業期間が終了し、令和5年度の支援対象は5市町の支援となるが、コロナ禍でのイベント開催のノウハウも蓄積され、積極的なイベント開催へ方向性がシフトしてきたため					
2月現計予算額の推移			111	9,086	12,988							
決算額の推移			110	8,601								
前年度までの 主な増減理由	令和3年度までに事業を開始していた4市町（越前市、坂井市、美浜町、高浜町）に加え、令和4年度から新たにスポーツまちづくり推進プランを策定し、事業を開始する市町（大野市、あわら市）が追加されたため											
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								各市町によって目標が異なるため設定が困難			
活動指標	新規プラン認定市町数 (目標) 実績		(2) 1	(2) 3	(2) 2	(3)	(6)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
新規プラン認定市町数 R2：1件（コロナ禍の影響により越前市のみ） R3：4件（越前市、坂井市、美浜町、高浜町） R4：6件（越前市、坂井市、美浜町、高浜町、あわら市、大野市）				・プラン認定事業支援を継続して実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	114	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツイベント開催支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘																												
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度																											
事業実施方法	補助																																						
補助率	1/4~10/10																																						
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]																																
[解決すべき問題・課題] スポーツを通じた地域活性化、交流人口の拡大						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベントの観客数減少 アスリートゲームズ 2022年観客数 1,200人 2021年観客数 1,600人 2020年 2,700人																																	
[事業目的] 県内外の人が、スポーツを「する」「みる」機会を創出することにより、交流人口の増加を図る。																																							
[事業内容] 全国規模のスポーツ大会やスポーツイベントの開催を支援することにより、県民がトップレベルのスポーツに触れ、楽しみ合える機会を創出し、交流人口の拡大を図る。																																							
(事業内容)	競技団体等が実施するスポーツイベント開催経費を支援 (イベントの規模に応じて支援) イベント企画・調査、誘致活動経緯を支援					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">イベントの規模</th> <th rowspan="2">福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が運営するイベント</th> <th colspan="3">補助率</th> </tr> <tr> <th>1年目</th> <th>2年目</th> <th>3年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50~149人</td> <td>15万円</td> <td rowspan="7">1/2</td> <td rowspan="7">1/3</td> <td rowspan="7">1/4</td> </tr> <tr> <td>150~299人</td> <td>30万円</td> </tr> <tr> <td>300~499人</td> <td>45万円</td> </tr> <tr> <td>500~699人</td> <td>75万円</td> </tr> <tr> <td>700~999人</td> <td>105万円</td> </tr> <tr> <td>1,000~1,499人</td> <td>150万円</td> </tr> <tr> <td>1,500~1,999人</td> <td>225万円</td> </tr> <tr> <td>2,000人~</td> <td>300万円</td> </tr> </tbody> </table>		イベントの規模	福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が運営するイベント	補助率			1年目	2年目	3年目	50~149人	15万円	1/2	1/3	1/4	150~299人	30万円	300~499人	45万円	500~699人	75万円	700~999人	105万円	1,000~1,499人	150万円	1,500~1,999人	225万円	2,000人~	300万円	(補助率) スポーツイベント支援枠：県1/2~1/4 (右図のとおり) 街なか設置イベント枠：県10/10				
イベントの規模	福井県スポーツまちづくり推進機構 加盟団体が運営するイベント	補助率																																					
		1年目	2年目	3年目																																			
50~149人	15万円	1/2	1/3	1/4																																			
150~299人	30万円																																						
300~499人	45万円																																						
500~699人	75万円																																						
700~999人	105万円																																						
1,000~1,499人	150万円																																						
1,500~1,999人	225万円																																						
2,000人~	300万円																																						
(補助上限額)	スポーツイベント支援枠：150千円~3,000千円 (最大3年間) 街なか設置イベント枠：500千円																																						
(実施主体)	福井県スポーツまちづくり推進機構加盟団体、競技団体など																																						
[受益者] 市町地域住民						[想定される受益者数] 約75万人																																	
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)																															
市町との連携状況	福井県スポーツまちづくり推進機構における情報交流会内で、市町担当者が参加し、事業に関する情報提供や関係団体への周知を実施					他県の状況		佐賀県 補助率1/2 補助上限 国際大会 5,000千円 (3年間 計15,000千円) 国内大会 2,500千円 (3年間 計 7,500千円)																															

スポーツイベント開催支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/4~10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	15,550	7,775			7,775	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			11,358	12,558	16,958	15,550	イベント規模に応じた補助に伴う減					
2月現計予算額の推移			5,012	7,813	10,968							
決算額の推移			4,252	7,019								
前年度までの 主な増減理由	補助対象数の増加に伴う増											
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	スポーツイベント来場者数 (目標) 実績		(10,700) 2,700	(12,700) 4,000	(12,700)	(12,700)	(12,700)	(28,200)	イベント来場者数の合計			
活動指標	補助事業採択件数 (目標) 実績		(2) 1	(3) 2	(6) 4	(6)	(7)	(8)				補助事業の採択件数
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・ 外的要因 コロナ禍や異常気象の影響により、観客席数の制限を設ける必要があり観客数が伸びておらず、またイベントの中止や縮小等により、目標未達成となった				・ スポーツイベント規模に応じてきめ細かく支援内容を設定することにより、より多くの観客が呼び込めるよう事業者の意欲を高める。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

日本スポーツマスターズ開催事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	日本スポーツマスターズ2023福井大会実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン]					
[解決すべき問題・課題] 県内外から人を呼び込めるスポーツイベントの誘致						[問題・課題を表す客観的データ] 新幹線開業に向け、県を対外的にPRできる大規模イベントが2023年には予定されていなかった。 (R3：東京オリパラ聖火リレー、R4年：ワールドマスターズゲームズ2021[延期]、R5年：なし) 大会関係者を含め、県内外から約17,000人の参加が見込まれる大会で、県のPRの絶好の機会。						
[事業目的] 令和5年9月の本大会に向けて、日本スポーツマスターズ2023福井大会実行委員会を開催するとともに、開会式等の式典や競技会の運営、来県者へのおもてなし、広報活動等の取組みを推進する。												
[事業内容] 日本スポーツマスターズ2023福井大会実行委員会への負担金 (1) 実行委員会運営費 1,075千円 実行委員会、企画運営委員会等の開催 (2) 広報活動費 24,828千円 大会に対する県民の関心を高め、大会成功に向けた機運醸成を図るため、新聞・テレビ広告、ポスターおよびリーフレット等を活用した大会広報を行う。 (3) 競技会運営費 23,481千円 スタッフ着用品作成およびボランティア研修会実施、市町・競技団体への補助等 (4) 開会式運営費 8,593千円 本大会のメインイベントである開会式において、本県の伝統芸能や地場産の食材により参加者のおもてなしを行う。 (5) 参加交流促進費 3,804千円 競技会場において、県外からの参加選手や韓国選手団に心のこもったおもてなしを行う。 (6) お成り関連経費 8,119千円 高円宮妃殿下のお成りに関する経費												
[受益者] スポーツマスターズ開催予定競技団体(13種目)、市町地域住民等						[想定される受益者数] 約17,000人(大会参加者および関係者)						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・ 競技会場の確保、会場使用料の減免 ・ 競技会場におけるおもてなし (おもてなしコーナーの設置、地元物産品の出店等) ・ ボランティアの確保(駐車場整理等)				他県の状況		直近の開催県 2019年 岐阜県 2020年 愛媛県(新型コロナウイルスにより中止) 2021年 岡山県(新型コロナウイルスにより中止) 2022年 岩手県				

日本スポーツマスターズ開催事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	日本スポーツマスターズ2023福井大会実行委員会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	□ 実行予算	事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	69,900	34,950			34,950	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			721	5,892	69,900	実行委員会の運営、本大会等の開催に伴う増						
2月現計予算額の推移			159	5,892								
決算額の推移			0									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実行委員会の設置や1年前イベント開催等に伴う増 ・ 令和5年度は大会の開催年度であり、県外からの来県者に向けた各種おもてなしを実施する。また、大会会期中にはメインイベントの開会式において本県独自のおもてなしを行うとともに、高円宮妃殿下のお成り対応等を万全にする必要があるため予算額が増加。 											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	本大会参加者数	(目標)				(8,000)	(8,000)	(8,000)	本大会(令和5年度)の参加者(選手)目標人数			
		実績										
活動指標	機運醸成イベント参加者数	(目標)		(300)	(500)				1年前イベント(令和4年度)・100日前カウントダウンイベント(令和5年度)の参加者数			
		実績										
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、連絡会議・先催県の視察等が中止となった				・ 実行委員会を設置し、本大会開催の準備を推進				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

FUKUIRAYS育成・全国魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	ふくい県民応援チーム				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託、補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] スポーツ観戦・応援文化の醸成						[問題・課題を表す客観的データ] チームの平均観客数は、コロナ禍の影響により減少傾向にある。 福井FCサポーターズ：391人（2019年）→263人（2020年）→156人（2021年）→183人（2022年） 福井ユナイテッドFC：642人（2019年）→1120人（2020年）→727人（2021年）→829人（2022年）						
[事業目的] ふくい県民応援チーム「FUKUIRAYS」の周知、ファンの増加および「FUKUIRAYS」を通じた福井の魅力発信												
[事業内容] ふくい県民応援チーム「FUKUIRAYS」の活躍の場をより広げ、県民に愛されるチーム作りを推進 (1) 県民チームの魅力発信 ▶ チームの試合内容や結果、次の試合予定等についてテレビ・ラジオを通じて情報発信 ▶ 駅や公共施設等におけるポスター掲示 (2) スポーツ応援機運醸成 ▶ 嶺北嶺南のスポーツ交流を拡大するため、嶺南での試合・イベント開催を補助 (3) 全国魅力発信 ▶ 県外の試合開催に伴う広報（チラシ等）やチームのSNSを活用した観光地PR												
[受益者] 市町地域住民、スポーツチーム						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町の公民館、イベント等へFUKUIRAYSを紹介					他県の状況	石川県：県内トップスポーツチームとの包括連携に関する協定 富山県：プロスポーツ支援事業					

FUKUIRAYS育成・全国魅力発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	ふくい県民応援チーム				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	委託、補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,867	3,933			3,934	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		9,563	10,917	8,417	7,867	全国魅力発信の見直しに伴う減						
2月現計予算額の推移		5,145	10,917	8,055								
決算額の推移		4,247	10,286									
前年度までの 主な増減理由	スポーツ応援機運醸成の見直しに伴う減											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県民チームの入場者数 (ホーム)	(目標) 実績	(3,000) 1,880	(3,300) 1,987	(3,500) 2,652	(4,000)	(4,200)	(10,000)	各チームの平均来場者数合計			
活動指標	イベント等への派遣数	(目標) 実績	(60) 145	(60)	(60)	(60)	(60)	(60)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・外的要因 コロナ禍の影響により通常のリーグ戦について観客数が想定より伸び悩み目標に届かなかった				・県民応援チーム「FUKUIRAYS」の周知・PRを継続して実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	550	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

スポーツ情報ポータルサイト保守事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画、北陸新幹線開業プラン]					
[解決すべき問題・課題] スポーツ情報ポータルサイト「F. sports!」の安定的な運用						[問題・課題を表す客観的データ] スポーツイベント・大会情報を中心に、県、市町、団体が各々情報発信しており、県民にとって情報にアクセスしにくい状況となっていた。情報を一つに集約・発信することで県民のアクセス向上を図る。						
[事業目的] 県内のスポーツ情報をまとめたポータルサイト「F. sports!」の安定的な運用を図る												
[事業内容] 以下のポータルサイトの保守委託（サーバ利用料、オンサイト保守）												
			【コンテンツ】 ①お知らせ情報 …県からのお知らせ情報 ②ふくい県民応援チーム …県民チームの紹介ページ ③はぴりゅうスポマガ …スポーツコラム ④スポーツイベント …県内のイベント情報の検索、閲覧 ⑤スポーツ施設 …県内の大会開催地、合宿地を検索、閲覧 ⑥ボランティア募集 …県内のボランティア募集情報の検索、閲覧、メール会員登録 ⑦イベント支援情報 …イベント開催補助金等の情報 ⑧福井県スポーツまちづくり推進機構 …推進機構の紹介 ⑨競技力向上 …県内企業に就職しているトップアスリートの紹介									
[受益者] 県民、県外観光客						[想定される受益者数] 300~600view/日						
前事業の有無・実績			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			関連事業の有無・役割分担			<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			
市町との連携状況			市町のスポーツ施設情報、スポーツ大会・合宿支援情報などを提供してもらい、ポータルサイトに掲載			他県の状況			愛知県、埼玉県などがスポーツ情報ポータルサイトを設置			

スポーツ情報ポータルサイト保守事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,281				1,281							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			6,614	1,281	1,281	1,281						
2月現計予算額の推移			6,614	1,281	1,281							
決算額の推移			6,499	1,281								
前年度までの 主な増減理由	R2年度にポータルサイトを構築し、令和3年度以降は保守委託（サーバー利用料、オンサイト保守等）による減											
[成果指標等の推移]												
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	全国大会・スポーツイベント（1000人以上）の参加・観戦者数 (目標)		(16,300)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(25,200)	(64,200)	新幹線開業までの開催見込み（最終目標）			
	実績		5,200	13,700								
活動指標	ポータルサイト延べ閲覧数 (目標)		(36,000)	(91,250)	(91,250)	(91,250)	(109,500)	(127,750)	2年度は6か月分、3年度以降は年間分			
	実績		20,400	180,862								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績 ポータルサイト閲覧数は目標を達成 (R4年度は閲覧数134,085回 ※R5.2月末時点) ・ 外的要因 コロナ禍の影響が大きくスポーツイベント開催数や観客数が減少したため成果指標が未達成となった 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期継続契約により継続して実施 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

スポーツコミッション事務局運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] 市町、経済団体、観光団体、スポーツ団体、報道機関などの情報共有の場がない						[問題・課題を表す客観的データ] 定期交流会が新型コロナ等の影響で開催できず（R3年度は1回のみ実施）情報共有が十分図れていない。（R4年度はオンラインで2回実施）						
[事業目的] 情報共有の場を持ち、一体的にスポーツを通じた地域活性化を進める												
[事業内容] (1) 情報交流会の開催 ①開催回数 年2回（10月および3月に実施） ②内容 ・ 事業結果・事業計画の報告 ・ 優良事例の発表 ・ 会員相互の交流 等 (2) 人材育成セミナーの開催 ①開催回数 年1回（情報交流会の実施に合わせて開催） ②講師（案） ・ スポーツツーリズム関連の大学教授等（早稲田大学スポーツ科学学術院 等） ・ 全国先進事例において中心となって活躍している方（さいたま市コミッション、山形県村山市（武道）等） ・ スポーツ通じて地域活性化を行っている方（スポーツ庁 地域振興担当参事官）												
[受益者] 福井県スポーツまちづくり推進機構加盟団体						[想定される受益者数] 84団体（R5.2月末現在）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）					
市町との連携状況	市町とスポーツコミッションを構成					他県の状況	県主体のスポーツコミッションは全国に14団体（R5.2月末現在）					

スポーツコミッション事務局運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			R2 年度 経過年数 4 年	R7 年度
補助率	-					□ その他			事業開始年度				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	273				273								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			364	365	273	273							
2月現計予算額の推移			364	365	273								
決算額の推移			325	123									
前年度までの主な増減理由		人材育成セミナー開催数の見直しに伴う減											
[成果指標等の推移]													
区分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	全国大会・スポーツイベント(1000人以上)の参加・観戦者数 (目標)		(16,300)	(16,500)	(16,500)	(16,500)	(25,200)	(64,200)	新幹線開業までの開催見込み(最終目標)				
	実績		5,200	13,700									
活動指標	情報交流会開催 (目標)		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	情報交流会の年2回開催				
	実績		1	1	2								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業による要因 スポーツコミッション推進機構加盟団体と連携を図りながら進めているがコロナ禍の外的要因が大きく情報交流会はオンライン1回の開催となった(R4年度はオンラインで2回開催) ・ 外的要因 コロナ禍の影響が大きくスポーツイベント開催数や観客数が減少したため成果指標が未達成となった 				<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン開催を引き続き検討し、継続して情報交流会を実施 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県実行委員会、関西組織委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍の影響により組織委員会は大会をR9年5月に再延期した。本県としても再延期後の大会開催に向け実行委員会を継続して運営していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 再延期後の会期（R9年5月開催）決定に影響した国際競技大会 アジアパシフィックマスターズ（R5年5月 韓国）、ヨーロッパマスターズ（R5年6～7月 フィンランド）、WMG台湾大会（R7年5月 台湾）						
[事業目的] オリパラ開催を機に高まるスポーツ機運の継承、さらに北陸新幹線開業後のインバウンド拡大や関西との連携強化を図るため、再延期となりR9年5月に開催される「ワールドマスターズゲームズ関西」の公式競技（ライフセービング）を高浜町で、オープン競技（ディスクゴルフ）を坂井市で開催する。												
[事業内容] (1) 「ワールドマスターズゲームズ2027関西福井県実行委員会」の運営 ・高浜町や競技団体等が参加する県実行委員会の運営を維持し、競技開催に向けた県内の体制を整える (2) 大会開催に向けての準備（関西マスターズスポーツフェスティバルへの負担金） ・大会開催に向けて県内機運醸成、生涯スポーツの裾野を広げるため、大会の認知度向上、PRを継続的に実施												
[受益者] 市町地域住民						[想定される受益者数] 約10万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	県と高浜町とで組織委員会への負担金を共同で負担 (割合 県：高浜町=1：1)					他県の状況	関西を中心として13府県政令市で実行委員会を設立し、開催に向け準備を進めている（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）					

ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県実行委員会、関西組織委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	55					55						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	5,154	17,585	9,623	86	55	<ul style="list-style-type: none"> ・組織委員会への負担金の減（延期に伴う組織体制の縮小に伴い、自治体職員の派遣契約が終了したため） ・県実行委員会事業費の減（令和5年度は実行委員会を継続するための経費のみ） 						
2月現計予算額の推移	5,154	14,465	5,611	86								
決算額の推移	5,154	14,180	5,501									
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度は当初予定していた大会開催の前年度であり、参加者獲得のためのPR費用や大会開催準備事業のための市町補助の事業費が増加 ・R3年度は大会開催準備事業についてR2年度事業で執行された部分が大きかったため、全体の事業費が減少 ・R4年度は組織委員会への負担金が発生せず、県実行委員会としても事業規模を縮小したため減少 											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ライフセービング競技大会 参加者数	(0) 0	(500) 58	(500) 68			(500)	高浜町開催ライフセービング競技大会参加者数500人：国内300人、国外200人（目標）※前回オークランド大会425名。再延期に伴いエントリーを一旦リセットする予定。				
活動指標	大会広報活動	(5) 5	(23) 14	(24) 4				大会の開催を幅広く周知し、参加者獲得、県内の機運を高める 令和3年度：4回（国内競技会2回、全豪選手権2日間）				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・事業による要因 本大会が令和9年に再延期されたことに伴いエントリーを一旦リセットするため目標未達成 ・外的要因 コロナ禍の影響により組織委員会は大会を令和9年5月に再延期した。このため県実行委員会としては事業規模を縮小し、委員会の運営維持のみの活動としたため目標未達成 				<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は再延期後の開催時期（R9年5月）までの期間が4年間と非常に長いため、事業規模を縮小し、大規模な広報活動等は行わず、県実行委員会の運営維持が主な活動となる。 				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	31	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

Go To Sports・Culture (Go To スポカル) 事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体		ふくいデジタルバウチャー推進協議会			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題] スポーツを「みる」「する」「ささえる」機会の充実						[問題・課題を表す客観的データ] チームの平均観客数は、コロナ禍の影響により減少傾向にある。 福井FCサッカークラブ：391人（2019年）→263人（2020年）→156人（2021年）→183人（2022年） 福井エリートFC：642人（2019年）→1120人（2020年）→727人（2021年）→829人（2022年）						
[事業目的] 県民がスポーツ・文化活動に触れてワクワクできる機会への参加意欲を高めとともに、県内における消費喚起による効果的な経済対策に結び付ける。												
[事業内容] ・ふくい県民応援チームが企画するスポーツ大会やミニスポーツイベントおよび桜マラソン関連イベント、文化イベント（県立美術館・博物館・音楽堂等）に来場（来場時にQRコードを読み取り）した方へ、デジタルバウチャー（登録店舗で税込3,000円以上購入時に利用できる1,000円割引チケット）を発行												
[受益者] ふく割アプリ保有者						[想定される受益者数] 360,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	滋賀県：しが割（SNSアプリケーションLINEを用いて電子割引券を発行）					

Go To Sports・Culture (Go To スポカル) 事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘			
事業主体	ふくいデジタルバウチャー推進協議会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金													
補助率	—													
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額						0								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						22,378	0							
2月現計予算額の推移					24,190	22,378								
決算額の推移					24,118									
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	デジタルバウチャー使用数	(目標) 実績			(30,000) 368	(10,000) 4,182				クーポンの使用数				
活動指標	来場確認回数	(目標) 実績			(8,750) 4,449	(10,000) 14,718				文化施設・スポーツイベントへの来場回数				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
・事業による要因 令和3年度6月補正予算で計上された本事業の認知度が十分には向上しなかったこともあり令和3年度の実績は目標未達成となった。令和4年度は1日のQRコード読み取り回数上限を廃止するとともに割引率を上げて周知徹底を図ることにより、前年度と比較して発行数が増加し一定の事業効果があった ・令和4年度をもって事業廃止				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額 22,378			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

街なかスポーツ支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	ふくい県民応援チーム				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [まちづくり] 政策 [文化・スポーツが福井の活力]	関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
スポーツ観戦・応援文化の醸成						チームの平均観客数は、コロナ禍の影響により減少傾向にある。 福井FCサニエルファン：391人（2019年）→263人（2020年）→156人（2021年）→183人（2022年） 福井ユナイテッドFC：642人（2019年）→1120人（2020年）→727人（2021年）→829人（2022年）						
[事業目的]												
県内トップスポーツチーム「FUKUIRAYS」の周知、ファンの増加、県民が街なかでスポーツに触れる機会の創出												
[事業内容]												
街なかスポーツイベントの開催支援 対象：スポーツコミッション構成団体等（構成団体が参加する実行委員会等を含む）が企画・開催するイベント等において「FUKUIRAYS」を活用したスポーツイベント企画に要する経費 開催場所例：ハピテラス・西武福井・ベル（福井市）、丸岡バスターミナル（坂井市）、越前おおの荒島の郷（大野市） 南えちぜん山海里（南越前町）、若狭おばま（小浜市） など イベント例：まちフェス、ワンパークフェスティバル（福井市）、河和田漆器まつり（鯖江市）、越前陶芸祭（越前町）、丸岡城桜まつり（坂井市）、おおいみんぴあフェスタ（おおい町）、学校祭 など 回数：嶺北20回、嶺南5回												
[受益者] 市町地域住民、スポーツチーム						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

街なかスポーツ支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘		
事業主体	ふくい県民応援チーム					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助												
補助率	定額												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額					0								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					22,397	0							
2月現計予算額の推移				24,576	19,838								
決算額の推移				22,041									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県民チームの入場者数 (ホーム)	(目標)		(3,300)	(3,500)				各チームの平均来場者数合計				
		実績		1,987	2,652								
活動指標	イベント等の開催回数	(目標)		(25)	(25)				年間25回の開催				
		実績		25	24								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
・事業実績 R4年度 県民チームの入場者数 2,652人 ・外的要因 新型コロナの影響により観客者数の減のため目標未達成 ・令和4年度をもって事業廃止				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	22,397		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

競技力向上対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘			
事業主体	県、県スポ協、市町、中体連、高体連 等				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	S41 年度 経過年数 58 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金													
補助率	県10/10、県1/2・市町1/2													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす(人材力)] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[福井県スポーツ推進計画 教育振興基本計画]							
[解決すべき問題・課題] 本県からトップアスリートを継続的に輩出するため、福井国体の選手強化の過程で得た有形・無形の「経験、人材、ノウハウ」のレガシーを継承・発展させ、中長期的な視点で選手確保・育成・強化サイクルを形成し、特にジュニア選手の発掘・育成を重点的に進める必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] H30福井国体前 全国大会での上位入賞数：100件未満 国体順位：20位台以下								
[事業目的] 計画的な選手の確保、育成等の競技力向上対策を実施し、国民体育大会をはじめスポーツの全国大会において本県選手が活躍することを通して、県民に夢と感動を与え、本県のスポーツの普及・振興を図る。														
[事業内容] ○選手確保 ・競技体験会の開催やトップアスリートを目指す子どもを対象に育成プログラムを提供 ・県内の強豪高校で競技力向上に励む選手へ下宿費用を支援 ・「スポジョブふくい」を活用し、アスリートの県内就職を支援 等 ○育成・強化 ・中学生の時から県選抜チームを結成し、定期的な練習会や強化遠征・合宿を実施 ・県外遠征やスーパーアドバイザーの配置により「チームふくい」を継続的に強化 ・強豪の県立高校の重点強化により、地域と学校をつなぐ継続的な選手の育成・強化体制を構築 等 ○環境整備 ・体操やボート、ホッケーに続く、地域に根差した新たなお家芸競技を育成 ・強化合宿や練習会、大会等にチーム専属トレーナーやメンタルトレーニングコーチ等のスポーツ医・科学の専門家を派遣 ・企業から支援を受けて自立・強化を目指すクラブチーム等を支援 ・各競技団体の中核となる若手指導者を育成 等														
[受益者] 国体の正式競技(41競技)の選手・指導者						[想定される受益者数] 約80,000人								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	各競技団体と連携し、体操やボート、ホッケーに続く、地域に根差した新たなお家芸競技を育成(県1/2、市町1/2)					他県の状況		歴代の国体開催県は、開催後も継続して競技力向上事業を実施						

競技力向上対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	スポーツ課	課長名	田中 和弘	
事業主体	県、県スポ協、市町、中体連、高体連 等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	S41 年度 経過年数 58 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県10/10、県1/2・市町1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	463,423	43,609			419,814	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	870,821	804,934	674,163	532,276	463,423	国体強化対策事業やスーパーアドバイザー配置事業等における指導者配置人数の減						
2月現計予算額の推移	796,545	635,158	570,518	506,544								
決算額の推移	749,016	552,648	518,179									
前年度までの 主な増減理由	選手支援制度の見直しに伴う減											
[成果指標等の推移]												
区分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	全国大会での上位入賞件数 (目標) (1~3位) 実績	(100) 130	(100) 188	(100) 180	(100)	(100)	(100)	スポーツ推進計画、教育振興基本計画の目標				
活動指標	新規選手確保数 (少年・成年) 実績	(50) 50	(50) 51	(50) 44	(44)	(44)	(44)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
・新型コロナウイルス感染症の影響で選手の強化活動も制限されたが、可能な限りの競技力向上対策に取り組み、成果目標を達成				・全国大会での上位入賞数は高いレベルで維持できているが、新規選手確保数については、高校生トップアスリート奨励金は限度数があるため、それを踏まえた目標の見直しを行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	68,853	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		